

リスクをチャンスに変える「坂の街」―広島県尾道市

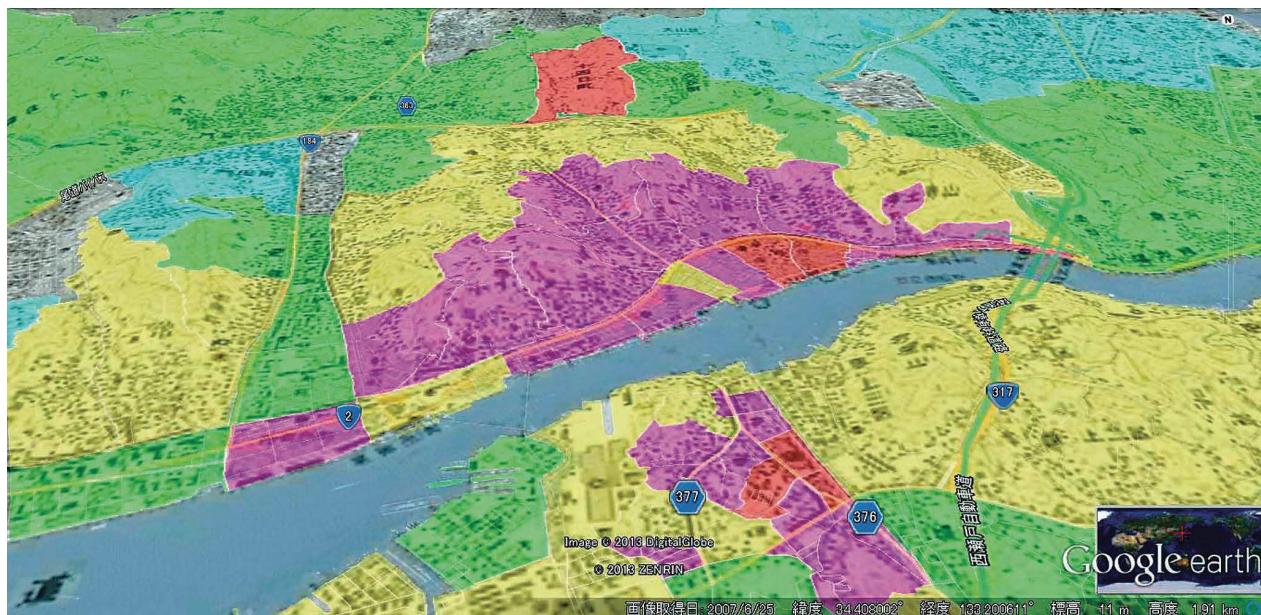


図1 尾道市中心部の小地域別高齢者（65歳以上）人口率
（赤：50%以上・紫：40%台・黄：30%台・緑：20%台・青：10%台、
画面中央部の◎記号付近が尾道市役所）
「平成20年度国勢調査（小地域集計人口）」より作成

KMZ

某運送会社のCMや映画の影響か、尾道と言えば「坂」というほど急斜面のイメージが定着しているが、実際に歩いてみると、なかなかハードな急傾斜地である。

レトロな風情を醸し出す木造家屋と、狭く入り組んだ路地は、観光客の旅情を誘うが、古びた民家には空き家が目立ち、住民の高齢化は著しい（図1）。自家用車はもとより、緊急車両の通行もままならない場所では、斜面の崩落、津波や高潮、昼夜間の人口差、火災の延焼など、一見しただけでも災害のリスクは小さくない（図2、写真1・2）。

2007年5月、1軒の空き家のリフォームからスタートした市民による空き家再生運動は、2008年にNPO法人「尾道空き家再生プロジェクト」となり、空き家の仲介・再生・ゲストハウスの運営など、様々な活動を行っている（写真3）。古民家を改造した隠れ家的なカフェやギャラリー、「坂暮らし」が体験できる簡易宿泊施設、市民に開かれたイベントスペース等の新たな空間の創り出されている。

新たな定住者の増加や、滞在型観光地への変化は、単なる商業的成功に収まらず、「地域の安心・安全」を取り戻すための一歩と言えるのかもしれない。今後の展開に、大いに注目したい場所の一つである。

KMZ 図1 <http://www.ninomiya-shoten.co.jp/kml/ictz/104/fig1.kmz>

表2 斜面地の市街化への影響

年度	事項	影響
1891年	山陽鉄道（現山陽本線）開通	線路敷設に伴う立ち退きによる住民の斜面地への移動
1905年	千光寺公園完成	斜面地の上に公園ができることにより、登り道が整備され、その周辺が開発される
1925年	上水道整備	斜面地に上水道が整備されることにより市街化が進む
1945年	第二次世界大戦終戦	戦時中の建物疎開により住民が斜面地へ移動



写真1 対象地の街路

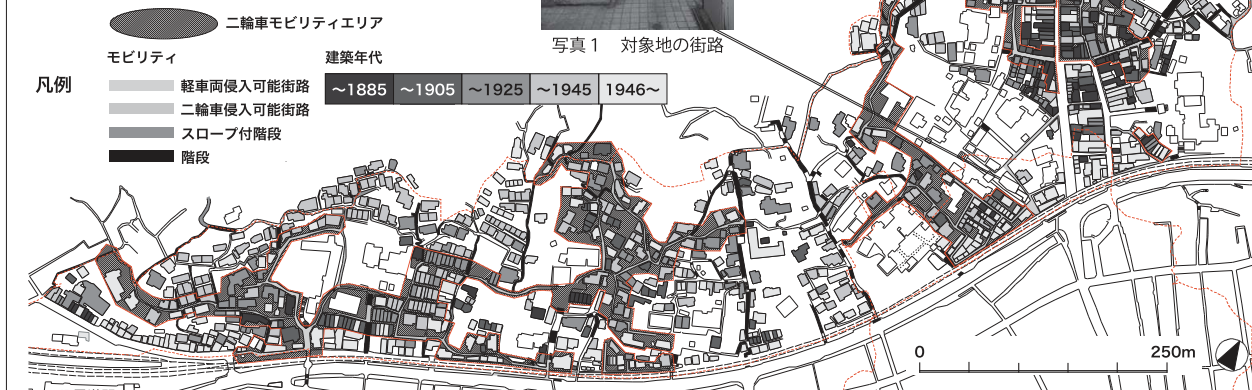


図2 尾道市中心部の建物の建築年代と交通モビリティ

原口 紘一（2007）：「空き家活用に着目した斜面市街地の住環境再生に関する研究－広島県尾道市を事例として－」（東京工業大学大学院社会理工学研究科修士論文）より

<http://www.soc.titech.ac.jp/publication/Theses2008/master/06M43232.pdf>



写真1・2 急傾斜地の住宅地（上）と路地（下）
（2013年1月，筆者撮影）

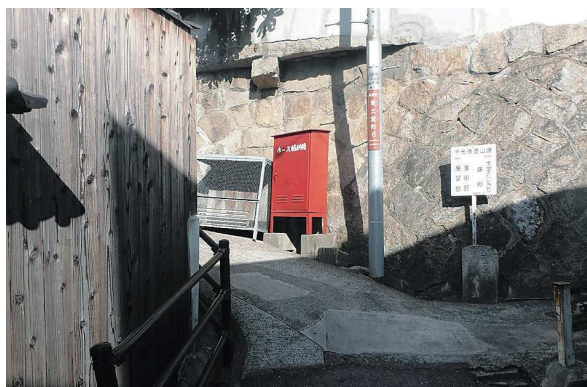


写真3 コミュニティスペースとして甦った古民家
（「尾道空き家再生プロジェクト」より転載）

<http://www.onomichisaisei.com/index.php>